

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (3) 畑わさび栽培方法の確立による地域農業復興への取組みについて
JAふくしま未来（福島県）

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機 (経緯)	JAふくしま未来管内の伊達市月舘地区および霊山地区は、昭和 52 年から山間部の特産品として山林圃場での畑わさび栽培に取り組んできました。しかしながら、東日本大震災および原発事故の影響で、当地区の畑わさびは平成 23 年 11 月から出荷制限が継続しており、産地の維持と出荷再開に向けた新たな取組みが課題となっています。
2 概要	従来 of 山林圃場での栽培は土壌等の影響を受けやすく、放射性物質の吸収・地蓄積の懸念を完全に払拭するためには、山林圃場以外（平地）での新たな栽培技術の構築が必要となります。 当 JA は生産者・行政・大学と連携し、平地での畑わさびの試験栽培に取り組むことにより、出荷再開を目指しています。
3 成果 (効果)	本取組みは、出荷制限を受けた他農作物の営農再開のモデルになると期待されています。
4 今後の予定 (課題)	畑わさびの試験栽培の結果を踏まえ、本格的な営農再開につなげていく予定です。